

**令和 4 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金  
（地域公共交通調査事業）に係る事業評価について**

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

協議会名:石川中央都市圏地域公共交通協議会

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(地域公共交通協働トライアル推進事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画等の計画策定等に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域の特性と公共交通の現状把握</li> <li>・公共交通に関する課題の整理</li> <li>・基本方針の設定</li> <li>・実施に向けた施策事業及び評価指標の設定</li> <li>・石川中央都市圏地域公共交通計画(案)のとりまとめ</li> <li>・協議会の開催</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域の特性や公共交通の利用状況を整理するとともに、圏域内の自治体における上位・関連計画や過年度実施したモニタリング調査を整理し、住民ニーズを明確化した。</li> <li>・圏域全体における公共交通がかかえる課題の整理を行い、基本方針と目標を設定するとともに、基本方針の実現に向け施策の検討と推進体制や進行管理の方法の検討を行った。</li> <li>・圏域内をスムーズに移動できる交通サービスの実現や広域的な公共交通網の構築に向け、計画素案を作成。</li> <li>・今後の協議会の検討を経て、地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。</li> </ul>	<p>A</p> <p>計画通り事業は適切に実施されている。 今年度中の策定に向け引き続き事業を進めていく。</p>	<p>石川中央都市圏ビジョンにおける将来像の実現を交通面から支え、クルマ中心ではなくひと中心の持続可能なまちづくりを進めるため、「”住みやすさ”日本一の圏域の実現を支えるひと中心の持続可能な交通ネットワークの構築」を基本理念とし、「超高齢・人口減少社会に対応した広域的な公共交通の構築」、「分かりやすく使いたくなる公共交通の利用環境の改善」、「公共交通利用促進に向けた住民等の意識醸成」の3つの基本方針を設定する。</p> <p>①超高齢・人口減少社会に対応した広域的な公共交通の構築 ・超高齢化・人口減少社会においても、広域的な公共交通網を構築し、人々の円滑な移動を支え、活発な交流や連携を促進する。</p> <p>②分かりやすく使いたくなる公共交通の利用環境の改善 ・駅やバス停の待合環境向上や、パーク・アンド・ライド駐車場の拡充により、自動車交通からの転換や新規需要の創出を図る。 ・MaaSなどの新技術の活用やユニバーサルデザイン、無人駅等のバリアフリー化などにより、公共交通の利用しやすさ・分かりやすさを向上させ、誰もが利用しやすい環境を整備し、持続可能な社会の実現を目指す。</p> <p>③公共交通利用促進に向けた住民等の意識醸成 ・モビリティマネジメントやマイレール・マイバス意識の醸成など、公共交通の意義や魅力を発信し、公共交通のあり方を自分事として捉えてもらい、公共交通の自発的な利用を促進する。</p> <p>【主なスケジュール】 令和4年12月頃にパブリックコメントを実施し、令和5年2月中旬～下旬に第4回目の協議会を開催し、計画を策定する予定。</p>